

III

備考

(1-1) a: F

イーサネット

b: B

仮想端末 (telnet), ファイル転送 (ftp)

c: F

誤り制御

d: F

ルーティング

e: G

物理回線

(1-2)

- 利点
- ・ 変更を行う際、該当部分の変更だけで事足りる
 - ・ 各機能の管理が容易

- 欠点
- ・ 各階層で似たような処理を行わなくてはならないことがある
 - ・ 階層に分類することで処理が増えることがある

(2) (ア) a, d, e, g, h

(イ) b, c, f,

(3-1) a: バス上を他のホストのフレームなどが流れていないか検知する

衝突を未然に防ぐ

b: フレームが衝突したのを検知したら送信を止める

無駄な送信を減らす

$$(3-2-1) \quad \frac{L}{2.0 \times 10^5} \times C \times 10^6 = 5CL$$

相手ホストに届くまでの時間

1秒に送出できるビット数

(10⁶ じゃなくて 2²⁰ かも?)

$$(3-2-2) \quad 5CL < F_{min}$$

(3-2-3)

- (3-2-2) 式より) C を大きくして不等式を満たすには
 L を小さくすることになる。つまりノード間の距離を
 短くしなくてはならないという制約が生じる。